

# 広報

# いしかり

平成 23 年 7 月 発行 第 33 号  
石狩森林管理署 広報

## はじめまして

「3つの「つ」で「国民の森林」実現、森林・林業再生に取り組む。」

石狩森林管理署長

山本 哲也



5月16日付けで石狩森林管理署長に異動となりました山本です。よろしくお願いたします。

さて、異動の度に感ずるのは、地域それぞれの自然、歴史、生活・文化に特色があり、森林と地域とのつながり、関わりも区々であることです。石狩森林管理署は、管内に札幌市を抱え、道内人口の約4割が集中する地域である一方、21万haという広大な国有林を管理経営していま

す。開かれた「国民の森林」の実現には、地域からの信頼、国民の幅広い理解と支援を得ることが重要であり、地域との対話・連携、国民の視点に立った事業の実行やその成果の公表、説明責任をしっかりと果たすよう努めていきたいと思っております。

また、本年は国連によって定められた「国際森林年」であり、森林の多面的機能の重要性を再認識するとともに、森林・林業の再生に向けた取組を進める絶好の機会でもあります。林政においても「森林・林業再生プラン」元年と位置づけられ、当署でも、民有林との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする多様な森林づくりを進めるとともに、間伐・路網整備の加速化、森林共同施業団地の取組、人材育成のためのフィールド

提供、国産材の安定供給などに取り組みこととしていきます。

つなぐ（報告・連絡・相談）、つめる（現状と問題、対応の十分な検討）、つくす（国民・地域の目線）という3つの「つ」を心掛け、関係する地方自治体、機関・団体等と連携をとりながら、適切・円滑な事業実行、業務遂行を通じて、国民の森林の実現、森林・林業の再生に向けて取り組んでいきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

出身地 愛知県  
家族構成 妻 三男一女  
趣味 音楽



## 「積丹地域森林整備推進協定 (共同施業団地) 運営会議」を開催

平成23年7月22日(金)石狩森林管理  
 署会議室において  
 積丹町、札幌水源林  
 整備事務所、石狩森  
 林管理署の三者が集  
 まり、積丹地域森林  
 整備推進協定運営会  
 議が開催されました。  
 積丹共同施業団地  
 協定締結から、4年  
 目に入り3団地での  
 作業路網等の整備計  
 画も予定どおり進め  
 られており、「婦美丸  
 山地区(1,727m石狩署  
 開設済み)、婦美六地  
 区(2,344m石狩署開  
 設済み)、余別地区(2,160  
 m積丹町開設済み)」  
 それぞれの地区につ  
 いて進捗状況と今後  
 の予定について報告  
 がありました。

その後の意見交換において、間  
 伐材の利用促進と、林地残材の有  
 効活用に向けての検討についても  
 話がおよび、町有林と国有林から  
 の出材と合わせるにより、ポ  
 リュームの的な問題等をクリアで



き、協定の効果が発揮できるので  
 はないかといった意見や、森林計  
 画樹立作業での調整、協定の更新  
 に向けた今後の見通しについての  
 意見交換も行われました。

会議には松井積丹町長も出席さ  
 れ、共同施業団地について、北海  
 道を代表するモデルとして育てて  
 いきたい、次期協定締結に向かえ  
 ればと思うとの所見を述べられま  
 した。

国有林としても、町・水源林整  
 備事務所との一層の連携を図り、  
 取組を進めていくこととしていま  
 す。

(大江 流域管理調整官)

## 「石狩空知森林行政連絡会議」

### を開催

平成23年6月30日(木)石狩森  
 林管理署会議室において、石狩振  
 興局他総勢26名が参加し、森林行  
 政連絡会議が開催されました。  
 石狩森林管理署山本署長の開催  
 挨拶に続き、昨年とメンバーが大  
 幅に入れ替わったため、各組織ご  
 とに自己紹介が行われました。

その後、各機関からの情報提供、  
 民国連携の取組など報告の後、意  
 見交換に入りました。  
 各機関からは、予定時間をオー  
 バーするほど活発な意見が出され  
 ました。

(大江 流域管理調整官)



### ★参加組織★

石狩振興局  
 石狩振興局森林室  
 空知総合振興局  
 空知総合振興局森林室  
 後志総合振興局  
 上川総合振興局  
 空知森林管理署  
 空知森林管理署北空知支署  
 石狩森林管理署

## 浜益魚つきの森推進協議会 「植樹」を実施



平成23年6月28日  
火曜日に、浜益魚つきの森推進協議会による植樹が、石狩森林管理署毘砂別森林事務所管内の「森の巨人たち100選」に選ばれた千本ナラの麓で行われました。

当協議会は、浜益地区内の森林の整備・保全及び環境の保全を推進することを目的として設立され、北海道の「北の魚つきの森」に認定されています。



平成17年7月25日に石狩森林管理署「国有林における森林整備の活動に関する協定」を結び、毎年ミズナラを植樹してきましたが、今年も、今まで植樹してきた箇所への補植を実施しました。

当日の参加者は、石狩市立浜益小学校4年生12名及び石狩湾漁業協同組合浜益女性部3名をはじめ、総勢35名が参加しました。

小学生は、軍手が大人用のため指が半分しか届かず苦戦していましたが、興味津々で植樹をしていました。参加者は、涼しいこともあり心地よい汗をかきながらミズナラ150本を植樹し、千本ナラのような雄大な樹木になるようお願いながら帰途につきました。

(古田 浜益上席森林官)

## 「清流と魚を守る森林づくり」 植樹について

平成23年6月30日(木)15時より石狩森林管理署・厚田森林事務所管内43い1林小班において、石狩湾漁業協同組合・はまなすOB会・石狩振興局森林室・石狩市・石狩森林管理署など計35名の参加により植樹事業が実施されました。

この取り組みは、平成20年10月10日に石狩湾漁業共同組合と石狩森林管理署との間で結ばれた協定、「清流を守り豊かな海を育むための森林づくり活動」に基づき、実施しており、今年で4年目です。



当日は、石狩湾漁協前に集合し、各自車両に分乗して植樹会場に移動。事務局より本日の作業内容の説明に引き続き、石狩森林管理署・厚田森林事務所・首席森林官より挨拶の後、東出さんの実演を交え、植樹方法を説明しました。

今年も非常に蒸し暑く、参加者は汗だくになりながらも、植えた木が、将来、山と海の架け橋になることを願って、樹高約1mのハルニレ200本を一本一本丁寧に植えました。

(名田 厚田首席森林官)

## にれのき会植樹行事開催！！ (野幌国有林)



平成<sup>3</sup>年6月2日  
(木)、野幌国有林に  
おいて、にれのき会  
恒例の植樹行事が、

にれのき会員(約<sup>4</sup>6名)、北海道  
森林管理局、石狩森林管理署、事  
務局の総勢約<sup>4</sup>7名が参加し、盛大  
に開催されました。

にれのき会は、昭和<sup>2</sup>2年林政統  
一後の林野庁関係退職者で札幌市  
及び近郊に居住し、本会の趣旨に  
賛同する方を会員とし、会員相互  
の連絡と連絡協議を図ることを目  
的としています。

当日は天気にも恵まれ植樹行事に  
適した天候となり、能勢会長の挨拶  
にはじまり、山崎森林管理局長  
をはじめ局幹部、山本石狩森林管

理署長等の紹介後、植樹行事箇所  
へ移動しました。

植樹箇所において、阿部野幌森  
林官による植樹方法の実演と注意  
事項の説明を受けたあと、会員各  
自植樹を開始し、瞬く間にトドマ  
ツ、ハルニレ等予定本数<sup>2</sup>250本の植  
栽を完了しました。

植樹行事の前には、野幌自然休  
養林整備事業としてアカエゾマツ  
人工林の枝打ちと、森林の家敷地  
内の花名表示板設置、明治<sup>4</sup>2年開  
設の野幌樹木園内の樹名板の張り  
替え作業を行い、快い汗をかくと  
ともに会員相互の親睦も図られた  
一日となりました。

(大江 流域管理調整官)



植樹作業



樹名板の張替え作業



花名表示板

### H23 林野火災

#### 消火訓練について

毎年実施しております当署の林  
野火災消火訓練を、5月<sup>3</sup>1日に署  
内及び各現場職員を対象として、  
野幌森林事務所部内<sup>4</sup>2林班におい  
て実施しました。当日は晴天の中、  
まず、池の水をポンプにより組立  
水そうに給水、薬剤を混ぜ攪拌し  
消火薬剤作製。その消火薬剤をポ  
ンプを利用し、ヘリコプター用バ  
ケットに補給する空中消火の訓練  
と併せて、陸上消火訓練として、  
ホース及びジェットシューターを  
使用した訓練も行われました。参  
加者は普段見せない緊張した面持  
ちで訓練を行っておいりました。  
訓練は万一の火災が起きた場合  
の対応であり、出来ることなら消  
火活動を行わないで済みたいもの  
です。(陣内 業務第一課長)

#### 山火事注意

- ①タバコの火は責任を持って  
後始末をし、吸殻は持ち帰る  
こと。
- ②ゴミなど投棄せず、ごみ収  
集に出しましょう。

# クリーンクリーン

## 野幌森林公園

平成23年5月26日(木)野幌自然休養林において、野幌森林公園管理運営協議会の主催の「クリーンクリーン野幌森林公園」と題し地域参加の下、清掃活動が行なわれ、当署からも野幌森林官外8名が参加しました。

都市近郊にありながら多様な自然が残されている野幌森林公園は年間を通じて多くの来訪者の憩いの場として利用されており、そうしたなかで都市の生活圏に隣接している野幌森林公園は、ゴミの投げ捨て、不法投棄などによる自然環境への影響が懸念され、野幌森林公園を、みんなの手で守ろうと清掃活動を計画したものです。

当日は、北海道開拓記念館総務部・空知森づくりセンター・石狩森林管理署・江別市・札幌市・北海道市で構成している野幌森林公園管理運営協議会、後援していただいている北の森21運動の会、北海道ボランティア、レンジャー協議会からの参加、その外一般参加

10名を含む約60名規模のクリーン作戦でした。



ゴミ拾いは、登別別園地からと、瑞穂入口からの二手に分かれ道路沿いのゴミの収集を行ないました。昨年以上にゴミが少なくなっています。これも毎年行っている清掃活動の成果が現れたのかと思います。

しかし、安心ばかりもしてはなりません。今年には地デジ化のためアナログテレビ及びビデオ等廃棄が予想され、国有林としても野幌森林公園ばかりでなく都市近郊林を管理しているなか、不法投棄、ゴミ問題は日常的な問題として、今後とも関係市町村や地域活動と連携し取組をしていきたいと思えます。

(中山 技術専門官)

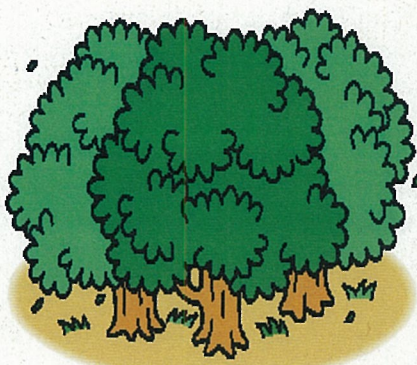
## カルビー株式会社北海道事業本部 『カルビー・ミナミナの森』

### 協定締結

平成23年7月4日(月)千歳市にあるカルビー株式会社北海道事業本部において、石狩森林管理署、カルビー株式会社北海道事業本部とふれあいの森の協定締結を行いました。当日は、活動をサポートする北海道林業技士会も出席いただき、3者で覚え書きを取り交わしました。

活動場所は、千歳森林事務所管内烏柵舞国有林<sup>374</sup>林班ろ、は2小班で面積<sup>27</sup>haです。は2小班<sup>11</sup>は平成16年<sup>4</sup>台風18号により被害を受けた箇所であカエゾマツ、ミズナラなど約<sup>100</sup>本の植樹活動を予定。ろ小班<sup>16</sup>haは天然林で遊歩道を設定し、森林散策や樹名板の取り付けなどを今秋から予定しております。活動にあたっては、北海道林業技士会のサポートを受けて活動していきます

(菊地 森林ふれあい係長)



# H 2 3 年度安全大会 開催される



7月5日(火) 署会議室において、全国安全週間行事の一環として安全大会を開催しました。林野庁殉職者への黙祷の後、署長挨拶、局長めいっせージ披露、安全標語入選表彰等を行い、午前の部は終了。



午後は、北海道札幌方面西警察署 前川総括官から交通安全講話を受け、シートベルトの重要性の説明に職員は真剣に聞き入っていました。



2011・国際森林年

今年は国際森林年です



その後、職員を代表しての場技官より安全宣言がなされ閉会となりました。

(河崎 総務課長)

## 編集後記

今年も一年の半分が既に過ぎていきました。もう半分なのか、まだ半分なのかは各人により様々なことと思いますが、7月末現在における北海道の交通事故件数、死者数ともに前年度より減少しており、あと半年ほどこのまま推移してほしいものです。

これから夏本番を向かえ、お盆による帰省などもあり、自動車を運転する機会も増加すると思います。一人ひとりが安全運転を心がけ、ゆとりを持った運転、防衛運転に努めていただき、交通事故のないように過ごしていただくと幸いです。

(次長)

表題写真提供

伊藤 札幌森林官

石狩森林管理署広報委員会

委員長 次長

委員 総務課長

流域管理調整官

総務係長

事務局 森林ふれあい係

住所 〒064-0809

札幌市中央区

南9条西23丁目1-10